

山口県政活動報告

「夢を共にし、みんなで造る

明るく・楽しく・元気な山口!!」

令和4年 初春号

発行 井上たけし事務所

編集人 井上 たけし



<環境福祉委員会の副委員長拝命>

昨年5月より、環境福祉委員会の副委員長を拝命しました。
この委員会は、県の健康福祉及び、環境生活に関わる課題に対し、審議する
常任委員会です。引き続き、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

2021年も、新型コロナウイルス感染症の影響が
続いた1年でした。

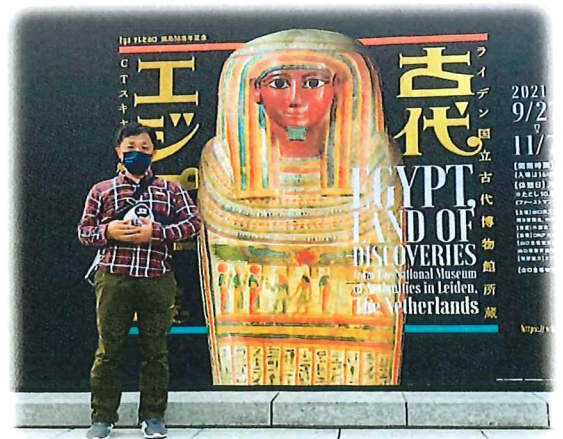
ワクチン接種も進み、治療薬の開発も進んでいます。
今年には、新型コロナウイルス感染症も、季節性インフルエンザと
同じ扱いになり、皆さんが平穏に過ごせる様になればです。
本年が皆さんにとって幸多き年となります様に祈念します。

今年の干支は「壬寅」。

この年は「陽気を孕み、春の胎動を助く」と言われ、
冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、
華々しく生まれる年になると言われています。

新型コロナウイルス感染症の広がり、
約2年のとても厳しい月日が流れました。

この寅年を、皆さんと共に、力強く華々しく栄える年にしましょう!



山口県議会議員
井上 たけし

<議会での登壇>

(青字が私の主張で⇒赤字が県の主な回答)

2021年2月定例議会（代表質問）

1. 来年度予算編成及び予算執行について

- 1) 厳しい予算で結果を出すには、上司と部下のコミュニケーションが大事！
- 2) 決めたまに進むのではなく、状況に応じた修正が出来る組織に！



事業については、実施時期の実情に即して執行方法の検討や、追加の対策が必要ならば、県議会の御意見も頂きながら、機動的に対応していく。

2. 今後の医療体制の整備について

- 1) 変異株の出現を想定し、十分な医療体制の確保を！
- 2) 円滑なワクチン接種体制の確立に向け、各自治体との協働を密に！



入院患者の受入病床は新たに52床増床し、宿泊療養施設では、ご提案のパルスオキシメーターや心拍数等を簡易に計測できる機器を新たに整備する。ワクチン接種については、接種対策会議を立ち上げ、緊密な連携体制を構築する。



3. コロナ禍における地産地消事業の推進について

他県交流が難しいこうした時期には、積極的に地産地消の後押しを！

4. 脱炭素社会の実現について

- 1) Co2排出量の多い事業所で、ライフサイクルで排出量を評価・低減する仕組みを！
- 2) 県全体で脱炭素を進める為に、ゼロカーボンシティの表明を！



エネルギー転換・脱炭素化に向けたイノベーションの創出のために、産業技術センターなどで水素やCO2等の利活用技術の開発・事業化に向けた支援を行う。また、県内コンビナート企業等と連携し、CO2削減・利活用技術等をテーマとした検討会を新たに立ち上げる。

5. 魅力ある県立学校の推進について

- 1) 全県一区化から6年、学校や先生、生徒の変化など総括して次に！
- 2) ICTを活用し、どこからでも県内の受けたい授業が受けられる様に！



「海外・地域・他校とつながる学校！」の実現をめざし、高等学校等における海外とのオンライン交流や、選抜性の高い大学をめざす生徒を対象とした全県合同の講義・演習、簿記等の資格取得に必要なオンライン講座などを実施する。

6. 交通事故防止について

- 1) 信号のない横断歩道での取締り強化を！
- 2) LED外周発光装置付き横断歩道標識などで、夜間の視認性向上を！
- 3) パトロール時などで、ロードバイクの方への交通指導を！



- *県警察として新たに「横断歩道の安全対策」を重点対策の一つに掲げていく。
- *視認性向上には、横断歩道標示の補修を最優先課題として取り組んでいるが、高輝度の標識や照明を備えた大型標識についても計画的に設置していく。
- *サイクリストには、積極的な指導取締り、関係機関・団体と連携した交通安全講習、更には各種媒体を活用した効果的な広報啓発などを行う。



2021年 9月定例議会（代表質問）

1. 新型コロナウイルス感染症とワクチン接種後に向けて

- 1) 5月の第4波で本県も病床使用率が75%と逼迫した。首都圏の様にせず県民の命を守るには症状に応じた病床を十分に確保する事が重要！
- 2) ワクチン接種に対して若い方の接種希望が低い。若い方々へワクチン接種によって得られる本人や社会的メリットと副反応に対する正しい知識正しい情報の上で接種判断を進めていく必要がある。
- 3) 感染対策の認証を受けた飲食店や宿泊業者などには、自粛要請の対象要件を緩和する措置が必要！



↓

*県民が安心して療養できるよう、症状に応じて、入院又は宿泊療養施設での療養を基本として対応出来る様に受入体制の充実に努める。若者のワクチン接種に対しては、医師会と連携し、接種の有効性や必要性について、動画配信を通じて広く呼びかける。

2. 脱炭素社会の実現に向けて

- 1) 国は2030年度の新たな温室効果ガス削減目標を2013年度比46%削減と大幅に引き上げ、更に50%の高みに向けて挑戦するとしている。しかし、本県の目標は、17.8%削減となったままであり、早急に見直しが必要！
- 2) 脱炭素化を進めるには、すべての部局を横断的に仕切る組織・担当が必要！
- 3) 脱炭素に向けた技術革新は、コンビナート企業を中心とした検討会ではなく、産学公金が連携したオール山口で取り組んでいく必要がある。
- 4) 温室効果ガスを吸収させる活動では、森林だけでなく海洋整備も進めるべき。
- 5) 脱炭素社会の実現は、企業だけでなく県民1人1人の意識改革と協力が不可欠でそれはトップの姿勢にかかっており、ゼロカーボンシティを知事として表明すべき



↓

*脱炭素を推進する組織は、副知事をトップとして、関係部局長で構成する「山口県環境政策推進会議」で実施していく。そして、イノベーションの創出は、「産業戦略本部」を中心とした体制の下、産学公金の連携を一層強化して取り組む。

3. DXの推進について

色んな分野でDXを開発したい民間事業者を募り、県が実証実験のモデル事業を進め、県内の課題に対してリードすべき。

↓

*本県ならではのDX、「やまぐちDX」の創出に向けて、新しい形の活動組織として、官民協働フォーラム「デジテック for YAMAGUCHI」を立ち上げる。

4. 少子化対策の推進について

国、県としてこの問題に「本気で向き合う」という雰囲気、気運造りがとても重要で、その為に、子育てを全県挙げて応援する風土造りや、若い方を呼び込む為にも子育て支援に特化した「やまぐち子育て応援県民税」の導入を！

5. ICTを活用した今後の教育について

- 1) AIなどのツールを活用して、それぞれの子供たちの強みや弱みに応じた学び方の提供、興味や関心のある事に取り組む課題の最適化、進学や就職など進路の最適化、そしてどういった環境下で学ぶのが一番良いかという学びの場の最適化などを提供していく事が重要！
- 2) ICTの活用した教育では、仮想空間だけでなく実際の現場での体感教育がとても重要で、うまく組み合わせて進める事が大事！

<環境福祉委員会> ~私の提言~

<がん検診の受診率向上に向けて>

死亡原因のトップであるが、検診受診率が全国でも下位である。検診を受けない理由として、「時間がなかった」「めんどくさい」を挙げられていたが、県内の病院でのそれぞれの癌の治癒実績、高度専門治療を有する病院等を紹介し、早期発見が何よりも完治につながり、安心出来ることをPRする事。また、血液によってがんのリスクが発見出来る技術もあり、積極的に導入していく事。



©山口県

<特定健康診査の受診率向上に向けて>

生活習慣病などの予防として、この特定健康診査の受診を進めているが、県の受診率は全国でも下位レベルである。保険種別でみると、対象人員の多い市町村国保の方が特に低く、他県の受診率が伸びている県を参考にして、健康寿命の延伸に向け、色んな手を実施する事。



<子どもの虐待の防止について>

コロナ禍での巣ごもりで、親も子供もストレスが溜まる事から、虐待までいかないとしても家庭内暴力や子どもの衝動行動の発生が考えられる。児童相談所や学校などとも連携して、情報交換をより密にする事。また、虐待と判断し保護した子供さんに兄弟がいる例もある。家庭に残された兄弟とご両親の信頼関係が失ってしまう様な心理的影響も考えられるので、兄弟がいる場合のきめ細かなケアをする事。



<各種の活動>

<防府市成人式>



挑戦する事を楽しんで!!

<セルビア選手団お見送り>



東京オリンピックで金メダルを!!

<防府市事案の知事要望>



防災公園の整備、総合医療センターの建替え、県道の整備などを池田防府市長さんと仲間の県議さんと村岡知事に要望!

<スポーツ・レクリエーションフェスティバル>

山口県スポーツ・レクリエーションフェスティバル
総合開会式・表彰式
主催 一般社団法人山口県レクリエーション協会



山口ペタンク連盟会長として出席し、岡村会長さんと。

<防府市自治会連合会>



脱炭素化の取組みについて報告。

<防府市戦没者慰霊祭>



戦後76年、今の平和に感謝し、御英霊の方々に哀悼の意をささげました。